

(43)公開日 平成14年6月7日(2002.6.7)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)	
G 0 6 F 17/60	1 4 4	G 0 6 F 17/60	1 4 4	5 B 0 4 9
	Z E C		Z E C	
	5 0 2		5 0 2	

審査請求 未請求 請求項の数6 OL (全 14 頁)

(21)出願番号	特願2000-361462(P2000-361462)	(71)出願人	500482072 株式会社エフネット 神奈川県横浜市西区高島二丁目19番12号
(22)出願日	平成12年11月28日(2000.11.28)	(72)発明者	本田 博己 神奈川県横浜市西区高島二丁目19番12号 横浜スカイビル23F 株式会社エフネット 内
		(72)発明者	堂園 仙太郎 神奈川県横浜市西区高島二丁目19番12号 横浜スカイビル23F 株式会社エフネット 内
		(74)代理人	100083552 弁理士 秋田 収喜

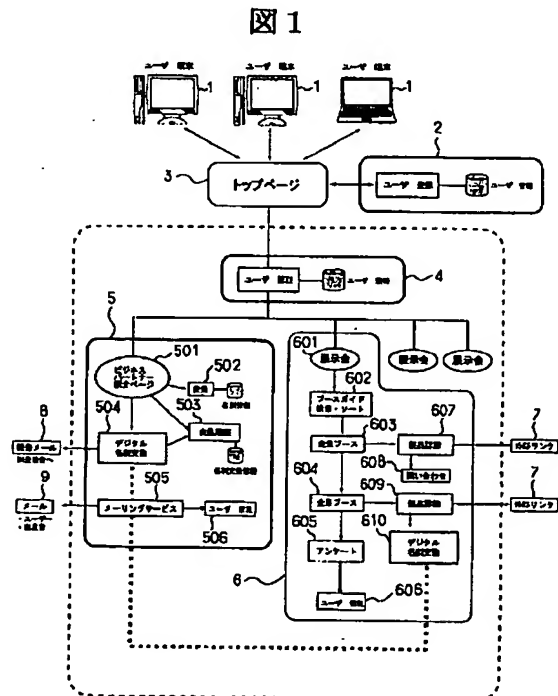
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 デジタル名刺交換システム

(57) 【要約】

【目的】 時間や場所に縛られることなくデジタル名刺を交換することができ、交換デジタル名刺の情報をいつでも取り出すことができるデジタル名刺交換システムを得る。

【構成】 ユーザ端末からインターネットを介してWebサイト上で個人のデジタル名刺を登録する手段と、他のユーザ端末とお互いのメッセージと共にデジタル名刺交換を行う手段と、その交換履歴データを管理する手段を具備するデジタル名刺交換システムである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザ端末からインターネットを介してWebサイト上で個人のデジタル名刺を登録する手段と、他のユーザ端末とお互いのメッセージと共にデジタル名刺交換を行う手段と、その交換履歴データを管理する手段を具備することを特徴とするデジタル名刺交換システム。

【請求項2】 ユーザ端末からインターネットを介してWebサイト上で個人のデジタル名刺を登録する手段と、他のユーザ端末とお互いのメッセージと共にデジタル名刺交換を行う手段と、その交換履歴データを管理する手段を具備するデジタル名刺交換システムであって、前記デジタル名刺上に画像データを付加する手段と、検索した目的の相手とワンクリックで交換する手段と、画面上で現実に近い形で前記デジタル名刺の交換をアニメーション表示する手段と、前記デジタル名刺交換の相手先には登録されたアドレスにデジタル名刺交換がなされたことを伝える電子メールを発信する手段と、相手方専用ページにも交換履歴を追加する手段を具備することを特徴とするデジタル名刺交換システム。

【請求項3】 ユーザ端末からインターネットを介してWebサイト上で個人のデジタル名刺を登録する手段と、他のユーザ端末とお互いのメッセージと共にデジタル名刺交換を行う手段と、その交換履歴データを管理する手段を具備するデジタル名刺交換システムであって、メーリング手段がデジタル名刺とリンクされていてメールアドレスを持たずにサイト内で相手先とメッセージの交換と過去のメールを管理するメール管理手段を具備することを特徴とするデジタル名刺交換システム。

【請求項4】 前記請求項3記載のデジタル名刺交換システムにおいて、前記メール管理手段は、検索、分類、及びソートのうち少なくとも1つの処理を行う手段を有することを特徴とするデジタル名刺交換システム。

【請求項5】 ユーザ端末からインターネットを介してサーバのデータベースに個人別の交換履歴を蓄積する手段と、前記データベースの各々のデジタル名刺交換専用ページから閲覧、検索、ソート、詳細表示、及びプリントのうち少なくとも1つの処理を行う手段を具備することを特徴とするデジタル名刺交換システム。

【請求項6】 ユーザ端末からインターネットを介してWebサイト上で個人のデジタル名刺を登録する手段と、他のユーザ端末とお互いのメッセージと共にデジタル名刺交換を行う手段と、その交換履歴データを管理する手段を具備するデジタル名刺交換システムであって、前記ユーザ端末からインターネットを介してサーバのデータベースに個人別の交換履歴を蓄積する手段と、前記データベースの各々のデジタル名刺交換専用ページから閲覧、検索、ソート、詳細表示、及びプリントのうち少なくとも1つの処理を行う手段を具備することを特徴とするデジタル名刺交換システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、ネットワーク上で運営されるメール配布システムに関し、特に、特定の会員に対しブラウザ上で操作できるオリジナルメーラーを運営する情報処理、例えば、名刺交換、その情報処理（ファイリング等）技術に関するものである。

【0002】

【従来の技術】現実の名刺交換では集めた名刺をファイリングしたり、住所録ソフトなどに入力して検索する。インターネットの世界では情報交換や出会いの場に、電子掲示板システムが盛んに利用されている。電子掲示板システムは、事業者によって管理されるサーバコンピュータによって運営され、サーバコンピュータはネットワークを通して送られてくるメッセージをデータベースに蓄積管理し、また、接続している利用者にデータベースの内容を提供する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、現実の名刺交換では、先ず、相手が同時刻、同じ場所に存在しなければ成り立たない。また、集めた名刺にプロフィールや交換日時を書き込んだり、住所録ソフトなどに入力して自己管理する必要性が発生する。また、インターネット上の電子掲示板システムでは、相手のプロフィールを取得するためには少なくとも2～3回のやり取りが必要となり、掲示板の書き込み後に個人電子メールの交換に移行する可能性が高く、相手のプロフィールを整理しようとすると面倒な作業が発生する。

【0004】本発明の目的は、時間や場所に縛られることなくデジタル名刺を交換することが可能な技術を提供することにある。

【0005】本発明の他の目的は、交換デジタル名刺の情報をいつでも取り出すことが可能な技術を提供することにある。

【0006】本発明の前記ならびにその他の目的と新規な特徴は、本明細書の記述及び添付図面によって明らかになるであろう。

【0007】

【課題を解決するための手段】本願において開示される発明の概要を簡単に説明すれば、以下のとおりである。

【0008】（1）ユーザ端末からインターネットを介してWebサイト上で個人のデジタル名刺を登録する手段と、他のユーザ端末とお互いのメッセージと共にデジタル名刺交換を行う手段と、その交換履歴データを管理する手段を具備するデジタル名刺交換システムである。

【0009】（2）ユーザ端末からインターネットを介してWebサイト上で個人のデジタル名刺を登録する手段と、他のユーザ端末とお互いのメッセージと共にデジタル名刺交換を行う手段と、その交換履歴データを管理する手段を具備するデジタル名刺交換システムであっ

て、前記デジタル名刺上に画像データを付加する手段と、検索した目的の相手とワンクリックで交換する手段と、画面上で現実に近い形で前記デジタル名刺の交換をアニメーション表示する手段と、前記デジタル名刺交換の相手先には登録されたアドレスにデジタル名刺交換がなされたことを伝える電子メールを発信する手段と、相手方専用ページにも交換履歴を追加する手段を具備するものである。

【0010】(3) ユーザ端末からインターネットを介してWebサイト上で個人のデジタル名刺を登録する手段と、他のユーザ端末とお互いのメッセージと共にデジタル名刺交換を行う手段と、その交換履歴データを管理する手段を具備するデジタル名刺交換システムであって、メーリング手段がデジタル名刺とリンクされていてメールアドレスを持たずにサイト内で相手先とメッセージの交換と過去のメールを管理するメール管理手段を具備するものである。

【0011】(4) 前記手段(3)のデジタル名刺交換システムにおいて、前記メール管理手段は、検索、分類、及びソートのうち少なくとも1つの処理を行う手段を有するものである。

【0012】(5) ユーザ端末からインターネットを介してサーバのデータベースに個人別の交換履歴を蓄積する手段と、前記データベースの各々のデジタル名刺交換専用ページから閲覧、検索、ソート、詳細表示、及びプリントのうち少なくとも1つの処理を行う手段を具備するデジタル名刺交換システムである。

【0013】(6) ユーザ端末からインターネットを介してWebサイト上で個人のデジタル名刺を登録する手段と、他のユーザ端末とお互いのメッセージと共にデジタル名刺交換を行う手段と、その交換履歴データを管理する手段を具備するデジタル名刺交換システムであって、前記ユーザ端末からインターネットを介してサーバのデータベースに個人別の交換履歴を蓄積する手段と、前記データベースの各々のデジタル名刺交換専用ページから閲覧、検索、ソート、詳細表示、及びプリントのうち少なくとも1つの処理を行う手段を具備するものである。

【0014】本発明のポイントは、次の各要件を備えたデジタル名刺交換システムである。

【0015】1) ネットワークを通じて利用者コンピュータと通信するサーバコンピュータであって、デジタル名刺管理手段により、利用者コンピュータ間の情報交換を仲介する。

【0016】2) 利用者はデジタル名刺交換サイトに初回アクセスの際、各個人のプロフィールをサーバ側が用意した登録フォーマットに従って入力し、送信する。

【0017】3) デジタル名刺掲載希望者あるいはデジタル名刺検索希望者が、登録画面に記入した情報を利用者コンピュータから取得する。

【0018】4) 記入情報を掲載禁止用語集に参照して審査し、問題のない情報をユーザデータベース(DB)に登録し、デジタル名刺掲載希望者のデータについては、サイト上に公開する。

【0019】5) 利用者はサイト内でデジタル名刺の検索手段を利用して、目的の掲載者を見つけることができる。

【0020】6) 利用者間のデジタル名刺交換手段、交換履歴照会手段、及びメーリング手段については、すべてユーザデータベース(DB)に登録されたデータから利用者に提供される。

【0021】以下、本発明について、図面を参照して実施形態(実施例)とともに詳細に説明する。

【0022】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の一実施例のインターネットエキスポ内に組み込まれたデジタル名刺交換システムの概略構成を示すブロック構成図である。

【0023】ここでは、実施例としてWeb上で開催するバーチャル展示会、インターネットエキスポのWebサイト内に組み込まれた“デジタル名刺交換システム”についてデジタル名刺交換を行う動作手順を図1に基づいて説明する。

【0024】図1において、1はユーザ端末、2は登録手段、3はトップページ、4は認証手段、5はビジネスパートナー紹介サイト(デジタル名刺交換システム)、6はインターネットエキスポ展示ブース、7は外部リンク、8は登録者への報告メール、9はユーザもしくは出展者へのメールである。

【0025】前記ユーザ端末1は、例えば、パーソナルコンピュータを用いる(以下、パソコンと呼ぶ)。前記登録手段2及び前記認証手段4についての説明は後述する。

【0026】前記ビジネスパートナー紹介サイト(デジタル名刺交換システム)5の機能構成は、ビジネスパートナー紹介ページ501、名刺情報登録手段502、交換履歴情報登録手段503、デジタル名刺交換手段504、メーリングサービス手段505、及びユーザ情報登録手段506からなる。

【0027】インターネットエキスポ展示ブース6は、展示会601が複数個設けられている。各展示会601は、ブースガイド手段、検索手段、及びソート手段602、企業ブース手段603、604、アンケート手段605、ユーザ情報登録手段606、製品詳細情報表示手段607、609、問い合わせ手段608、及びデジタル名刺交換手段610を有している。

【0028】図2は、本実施例のデジタル名刺交換システムの動作手順を示すフローチャートである。以下に、本実施例のデジタル名刺交換システムの動作手順を図2に従って説明する。

【0029】本実施例のデジタル名刺交換システムは、

図2に示すように、トップページを表示し（S101）、ユーザ情報の入力をユーザに促す。次に、ユーザ登録済であるかをチェックし（S102）、既に登録済のユーザは、登録時に付与されたID、パスワードを入力する。前記ステップS102のチェックで、ユーザ登録済であれば（Yes）、ユーザ認証処理（S103）に進み、ユーザ認証処理を行う。前記ステップS102のチェックで、まだユーザ登録済でない場合にはユーザ登録処理を行い（S104）、前記トップページ表示（S101）に戻り、前記ステップS101、ステップS102の処理動作を前記ユーザ認証処理（S103）が行える条件になるまで繰り返す。

【0030】次に、ユーザ認証処理（S103）を終了したユーザには、システムのメインメニューページが表示される（S105）。メインメニューで“名刺交換処理”を選択したユーザは、名刺交換処理（S106）に進み、前記名刺交換処理（S106）を行って終了すると、前記メインメニューページ表示（S105）に戻る。

【0031】前記メインメニューで“交換履歴照会処理”を選択したユーザは、交換履歴照会処理（S107）に進み、ステップS107で交換履歴照会処理を行って終了すると、メインメニューページ表示（S105）に戻る。

【0032】前記メインメニューページで“メール処理”を選択したユーザは、メール処理（S108）に進み、ステップS108でメール処理を行って終了すると、メインメニューページ表示（S105）に戻る。

【0033】前記メインメニューページで“終了処理”（S109）を選択したユーザは、終了処理（S109）に進み、終了処理を行ってシステム処理を終了する。

【0034】以下、前記各処理動作について詳細に説明する。

【0035】（ユーザ登録処理と認証処理）インターネットエキスポのWebサイトにアクセスし、バーチャル展示会に入場しようとしたユーザは、初回にユーザ登録を義務付けられる。ユーザは規定最小限以上の個人情報と任意のパスワードを入力し、その情報はサーバ上のユーザ情報データベース（DB）に登録され、個人IDが発行される。以後ユーザはIDとパスワードにより認証され、バーチャル展示会に入場が可能となる。

【0036】図3は、本実施例のユーザ登録処理手順を示すフローチャートである。

【0037】本実施例のユーザ登録処理は、図3に示すように、ユーザ登録画面を表示し（S201）、ユーザ情報の入力をユーザに促す。ユーザは名前、電話番号、E-Mailアドレス、会社名等の情報を入力し登録する（S202）。前記入力されたユーザ情報をチェックし（S203）、そのユーザ情報の入力が異常な場合（N

G）、再入力するためユーザ登録画面表示（S201）に戻る。前記S203のユーザ情報チェックにおいて、ユーザ情報の入力が正常であれば（OK）、その入力ユーザ情報をユーザ情報データベース（DB）に登録する（S204）。前記登録の結果画面によりシステムが付与するIDとパスワードを表示し（S205）、ユーザ登録処理を終了する。

【0038】図4は、本実施例のユーザ認証処理手順を示すフローチャートである。

【0039】本実施例のユーザ認証処理は、図4に示すように、ユーザ認証画面を表示し（S301）、IDとパスワードの入力をユーザに促す。ユーザは本システムで付与されたIDとパスワードを入力し（S302）、その入力情報が本システムで付与されたIDとパスワードと一致するか否かをチェックし（S303）、その入力情報が異常な場合（NG）、再入力するためユーザ認証画面（S301）に戻る。前記ユーザ情報チェック（S303）において、入力情報が正常であれば（OK）、その入力ユーザ情報を認証し、メインメニューを表示して（S304）、ユーザ認証処理を終了する。

【0040】（名刺交換相手の検索処理）前記認証を終えたユーザは、ビジネスパートナー紹介のページや展示会のページのページへ移動する。ビジネスパートナー紹介のページでは、デジタル名刺を公開しているユーザを、目的に添ってキーワード検索や項目別絞り込み検索を行い見つける。検索に希望項目の該当者があった場合は、リストの一覧画面が表示され、各々の名前をクリックすると、個人のプロフィール画面に移動する。

【0041】また、展示会内の企業ブースでも、製品担当者が個人名刺を公開している場合は名刺をクリックするとプロフィール画面に移動する。

【0042】（個人名刺の公開処理）個人のデジタル名刺公開を希望するユーザは、ビジネスパートナー紹介のトップページでデジタル名刺公開ボタンをクリックする。公開登録画面に移動し、初回ユーザ登録時に入力済みのプロフィールが入力画面に表示される。データの追加や変更をしたい場合はこの画面で追加、変更項目の入力をする。変更しない場合はメッセージ等を入力し、公開ボタンをクリックする。“あなたのデジタル名刺が公開されました”のメッセージが表示され押ボタンによりトップページに戻る。

【0043】（名刺交換処理）ビジネスパートナー紹介のトップページで検索又は展示会内の企業ブースから名刺公開人のプロフィール画面で相手の情報を確認後、デジタル名刺交換ボタンをクリックする。名刺交換の画面がアニメーション表示され交換されたことを確認する。その際相手先には希望アドレスにデジタル名刺交換が行われたことを通知する電子メールが配信される。また、サーバ内のユーザデータベース（DB）では双方の交換履歴が更新される。

【0044】図5は、本実施例のデジタル名刺交換処理手順を示すフローチャートである。

【0045】本実施例のデジタル名刺交換処理は、前記図5に示すように、名刺交換画面を表示し（S401）、検索条件の入力をユーザに促す。ユーザは名前、電話番号、会社名等の検索条件を入力し（S402）、その検索条件の入力が正常か否かをチェックし（S403）、その入力情報が異常な場合（NG）、再入力するため名刺交換画面（S401）に戻る。前記入力検索条件のチェック（S403）において、入力検索条件が正常であれば（OK）、ユーザ情報データベース（DB）へ検索を行う（S404）。その検索の結果が有るか否かをチェックし（S405）、その検索の結果件数が0件の場合は、再入力するため名刺交換画面（S401）に戻る。その検索の結果件数が1件以上の場合は、検索結果画面を表示し（S406）、ユーザは名刺交換相手を選択し（S407）、名刺交換を行い、画面で名刺交換状態を表示し確認する（S408）。ユーザが選択することにより名刺交換情報をユーザ情報データベース（DB）に登録し（S409）、その旨を記述したメールを交換相手に送信する（S410）。最後に名刺交換結果画面により名刺交換結果を表示し（S411）、名刺交換処理を終了する。

【0046】（交換履歴照会処理）デジタル名刺交換後であれば、同じ画面から、それ以外はビジネスパートナー紹介のトップページからユーザ個別の名刺交換履歴のページへジャンプする。

【0047】名刺交換履歴のページでは履歴一覧、交換目的、画像を含んだ双方のメッセージを詳細表示、条件別でソートする。

【0048】図6は、本実施例の交換履歴照会処理手順を示すフローチャートである。

【0049】本実施例の交換履歴照会処理は、図6に示すように、交換履歴照会画面を表示し（S501）、検索条件の入力をユーザに促す。ユーザは名前、電話番号、会社名等の検索条件を入力し（S502）、その検索条件の入力が正常か否かをチェックし（S503）、その入力情報が異常な場合（NG）、再入力するため交換履歴照会画面（S501）に戻る。前記ステップS503の入力検索条件のチェックにおいて、入力検索条件が正常であれば（OK）、名刺交換情報データベース（DB）へ検索を行う（S504）。その検索の結果が有るか否かをチェックし（S505）、その検索の結果件数が0件の場合は、再入力するため交換履歴照会画面（S501）に戻る。その検索の結果件数が1件以上の場合は、検索結果画面を表示し（S506）、その後の処理選択をユーザに促す。

【0050】ユーザの選択が“詳細情報表示選択”の場合（S507）は、詳細情報画面を表示する（S508）。ユーザはその詳細情報画面を閲覧し終わったら閲覧

終了処理を選択し（S509）、前記ステップS506に戻る。

【0051】ユーザの選択が“ソート条件選択”の場合（S510）は、選択された条件（名前、電話番号、会社名等）でソート処理を行い（S511）、検索画面を表示し、前記ステップS506に戻る。

【0052】ユーザの選択が“印刷選択”の場合（S512）は、前記検索結果の印刷処理を行い（S513）、その検索結果をプリントアウトし（S514）、前記ステップS506に戻る。

【0053】（メール処理）デジタル名刺交換の画面から相手先に、メール送信ボタンで自動的にオリジナルメールによるメールの送信を行う。

【0054】また、他のユーザを検索し複数に同じ内容のメールを一括送信できる。メールデータの検索手段や項目分類、ソート手段を利用して過去のメールデータの一元管理を行う。

【0055】図7は、本実施例のメール処理手順を示すフローチャートである。

【0056】本実施例のメール処理は、図7に示すように、メール画面を表示し（S601）、メール処理の入力をユーザに促す。ユーザは送信、受信、管理のいずれかから処理を選択する。“メール送信”を選択した場合は、“メール送信処理”を行い（S602）、“メール受信”を選択した場合は、“メール受信処理”を行い（S603）、“メール管理”を選択した場合は、“メール管理処理”を行い（S604）、“終了”を選択した場合、メール処理を終了する。

【0057】図8は、本実施例のメール送信処理手順を示すフローチャートである。

【0058】本実施例のメール送信処理は、図8に示すように、メール送信画面を表示し（S701）、メール送信処理の入力をユーザに促す。ユーザは宛先を宛先リストの中から選択し（S702）、件名を入力し（S703）、本文を入力する（S704）。ユーザが送信ボタンを押すことによりメール送信を行い（S705）、メール送信が完了するとメールデータベース（DB）へ登録し（S706）、メール送信処理を終了する。

【0059】図9は、本実施例のメール受信処理手順を示すフローチャートである。

【0060】本実施例のメール受信処理は、図9に示すように、メール受信画面を表示し（S801）、メール受信処理の入力をユーザに促す。ユーザが受信ボタンを押す（S802）ことにより、メール受信を行い（S803）、メール受信が完了すると受信メールをメールデータベース（DB）へ登録され（S804）、画面には受信メールが表示される（S805）。受信メールを表示するとメール受信処理を終了する。

【0061】図10は、本実施例のメール管理処理手順を示すフローチャートである。

【0062】本実施例のメール管理処理は、図10に示すように、メール管理画面を表示し（S901）、検索条件の入力をユーザに促す。ユーザは、名前、電話番号、会社名等の検索条件を入力し（S902）、その検索条件の入力が正常か否かをチェックし（S903）、その入力情報が異常な場合（NG）、再入力するためメール管理画面（S901）に戻る。前記入力検索条件のチェック（S903）において、入力検索条件が正常であれば（OK）、メールデータベース（DB）へ検索を行う（S904）。その検索の結果が有るか否かをチェックし（S905）、その検索の結果件数が0件の場合は、再入力するためメール管理画面（S901）に戻る。その検索の結果件数が1件以上の場合は、検索結果画面を表示し（S906）、その後の処理選択をユーザに促す。

【0063】ユーザの選択が“分類条件選択”の場合（S907）は、選択された条件（名前、電話番号、会社名等）で分類処理を行い（S908）、検索画面を表示し前記ステップする。ユーザの選択が“ソート条件選択”の場合（S909）は、ユーザは選択された条件（名前、電話番号、会社名等）でソート処理を行い（S910）、検索画面を表示し前記検索結果画面表示（S906）に戻る。

【0064】ユーザが“終了”を選択した場合は、メール管理を終了する。

【0065】以上、本発明を、前記実施例に基づき具体的に説明したが、本発明は、前記実施例に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において種々変更可能であることは勿論である。

【0066】

【発明の効果】本願において開示される発明によって得られる効果を簡単に説明すれば、以下のとおりである。

【0067】（1）サイトを運営する事務局側での効果

- ・会員間ビジネスの活性化がはかれる。
- ・新たな会員支援を提供することができる。
- ・組織の価値観がさらに高まる。
- ・会員の負担（時間、経費、作業）を軽減する。
- ・利便性が生まれる。
- ・会合や懇談会のモチベーションが向上する。
- ・会合や懇談会の有意義性が高まる。
- ・地理的な問題が解消される。
- ・経済効果がさらに高まる。
- ・会員拡大効果を生む。
- ・組織の全国展開がはかれる。
- ・ホームページのアクセス向上が見込まれる。
- ・会員へのお知らせがはかりやすい。
- ・地域的、社会的にも有意義性が高まる。
- ・会員名簿として提供できる。
- ・会員名簿の更新がリアルタイムに開示できる。

【0068】（2）サイトを利用するユーザ側での効果

- ・短時間で会員全員との名刺交換が可能になる。
- ・情報交換が容易にできる。
- ・誰でも積極的な営業アプローチが可能になる。
- ・自社のアピールや要望を明確に伝えられる。
- ・ビジネス展開をスピーディにはかれる。
- ・ビジネスチャンスが格段に広がる。
- ・自社営業担当者の紹介も可能になる。
- ・会合や懇談会の価値観が高まる。
- ・過去に名刺交換した相手の照会ができる。
- ・相手名刺の登録、管理が非常に楽な上に区別しやすい。

- ・多忙での問題が解消される。
- ・利便性と費用対効果が向上する。
- ・地理的な問題が解消される。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例のインターネットエキスポ内に組み込まれたデジタル名刺交換システムの概略構成を示すブロック構成図である。

【図2】本実施例のデジタル名刺交換システムの処理手順を示すフローチャートである。

【図3】本実施例のユーザ登録処理手順を示すフローチャートである。

【図4】本実施例のユーザ認証処理手順を示すフローチャートである。

【図5】本実施例のデジタル名刺交換処理手順を示すフローチャートである。

【図6】本実施例の交換履歴照会処理手順を示すフローチャートである。

【図7】本実施例のメール処理手順を示すフローチャートである。

【図8】本実施例のメール送信処理手順を示すフローチャートである。

【図9】本実施例のメール受信処理手順を示すフローチャートである。

【図10】本実施例のメール管理処理手順を示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 1…ユーザ端末
- 2…登録手段
- 3…トップページ
- 4…認証手段
- 5…ビジネスパートナー紹介サイト
- 6…インターネットエキスポ展示ブース
- 7…外部リンク
- 8…登録者への報告メール
- 9…ユーザもしくは出展者へのメール
- 501…ビジネスパートナー紹介ページ
- 502…名刺情報登録手段
- 503…交換履歴情報登録手段
- 504…デジタル名刺交換手段

505…メーリングサービス手段

506…ユーザ情報登録手段

601…展示会

602…ブースガイド手段、検索手段、及びソート手段

603, 604…企業ブース手段

605…アンケート手段

606…ユーザ情報登録手段

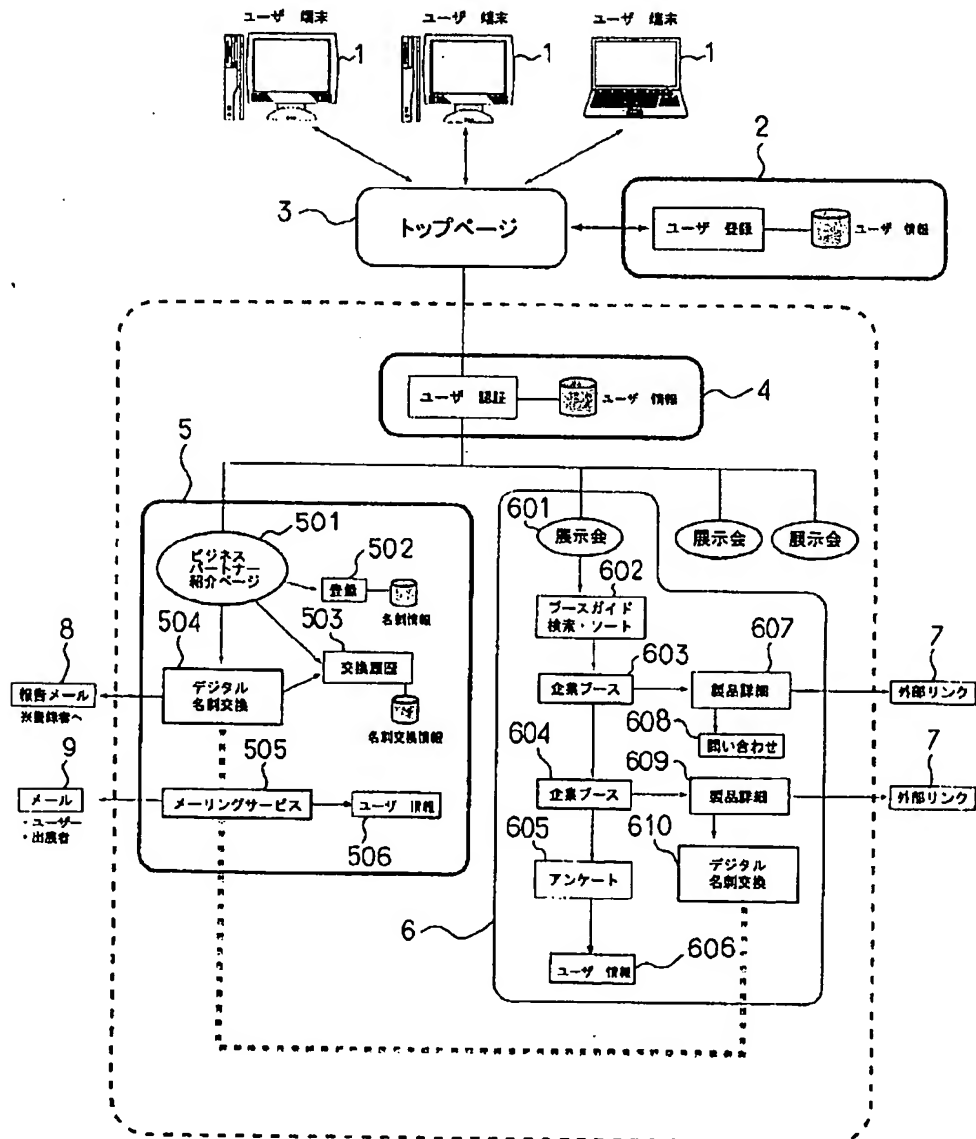
607, 609…製品詳細情報表示手段

608…問い合わせ手段

610…デジタル名刺交換手段

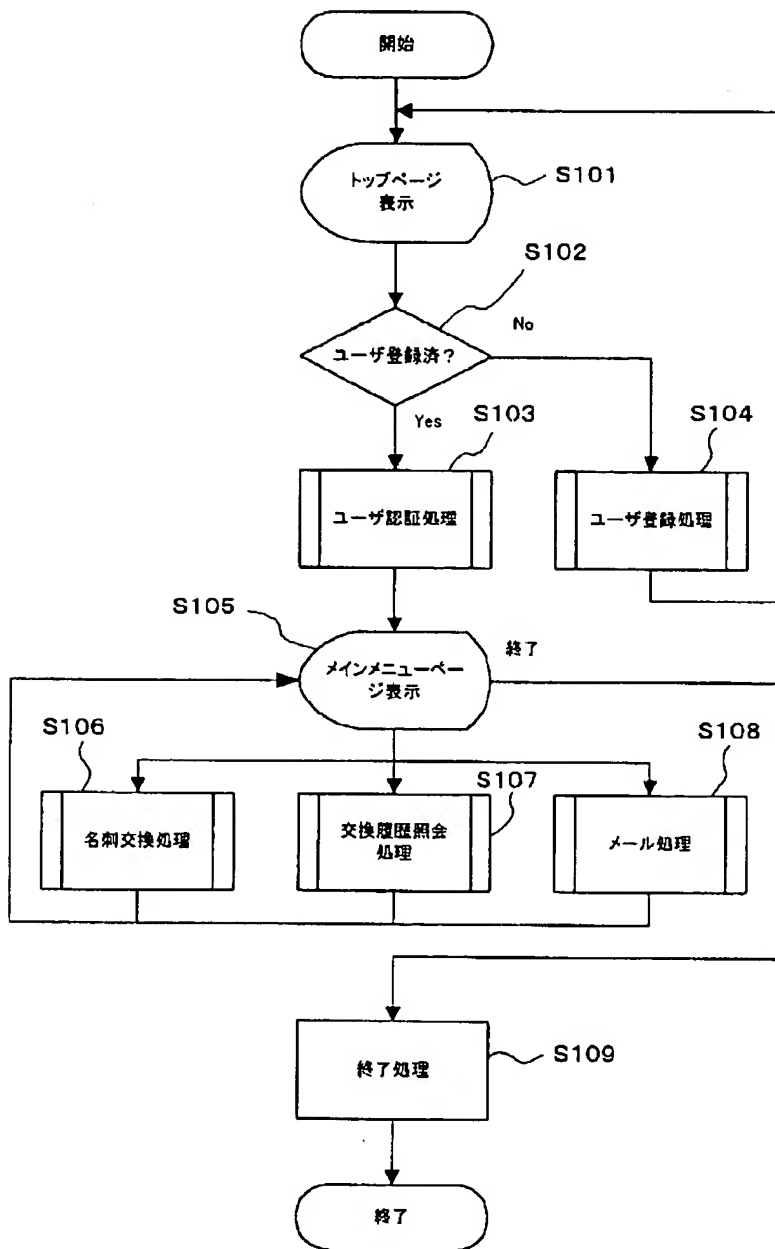
【図1】

図 1



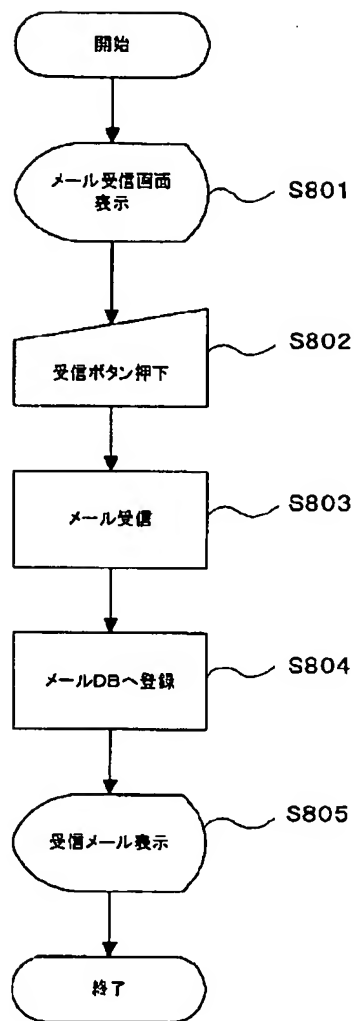
【図2】

図 2



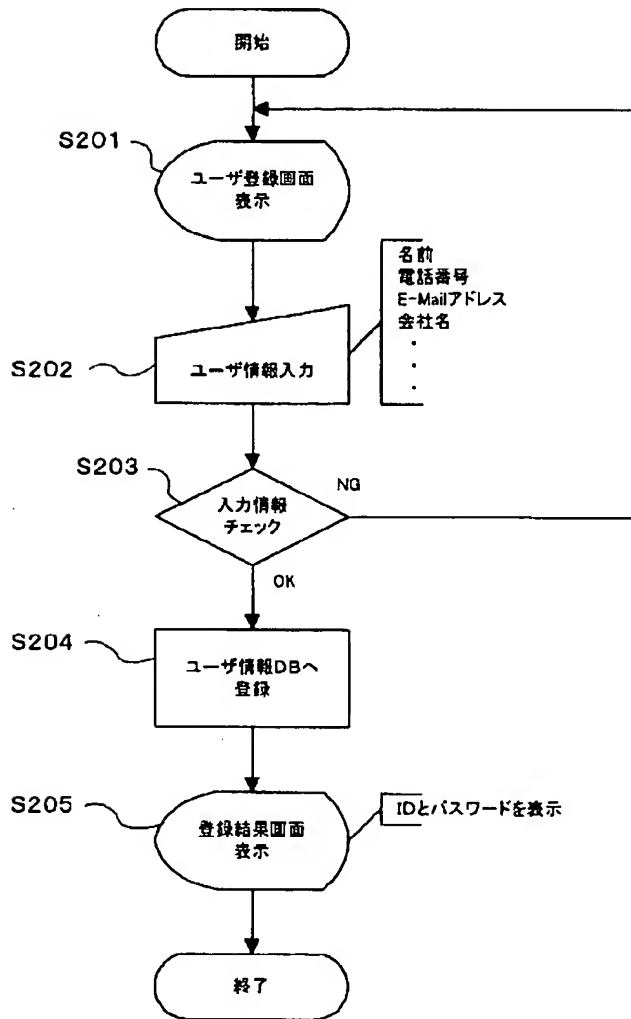
【図9】

図 9



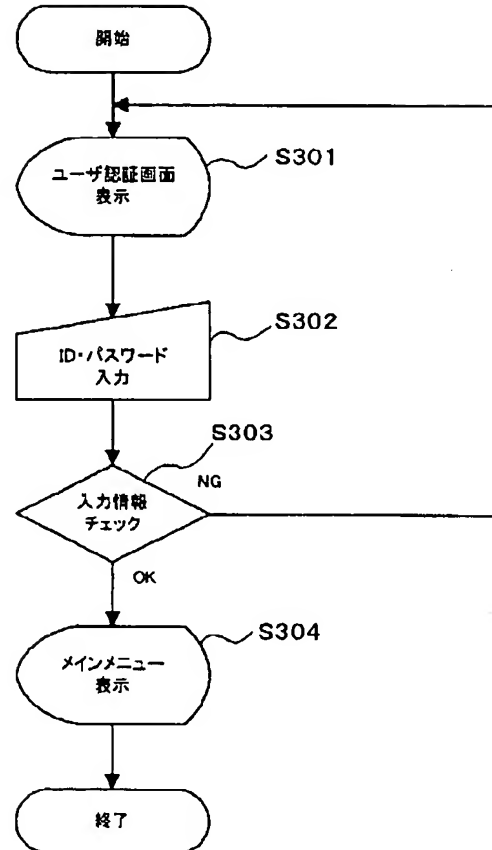
【図3】

図 3



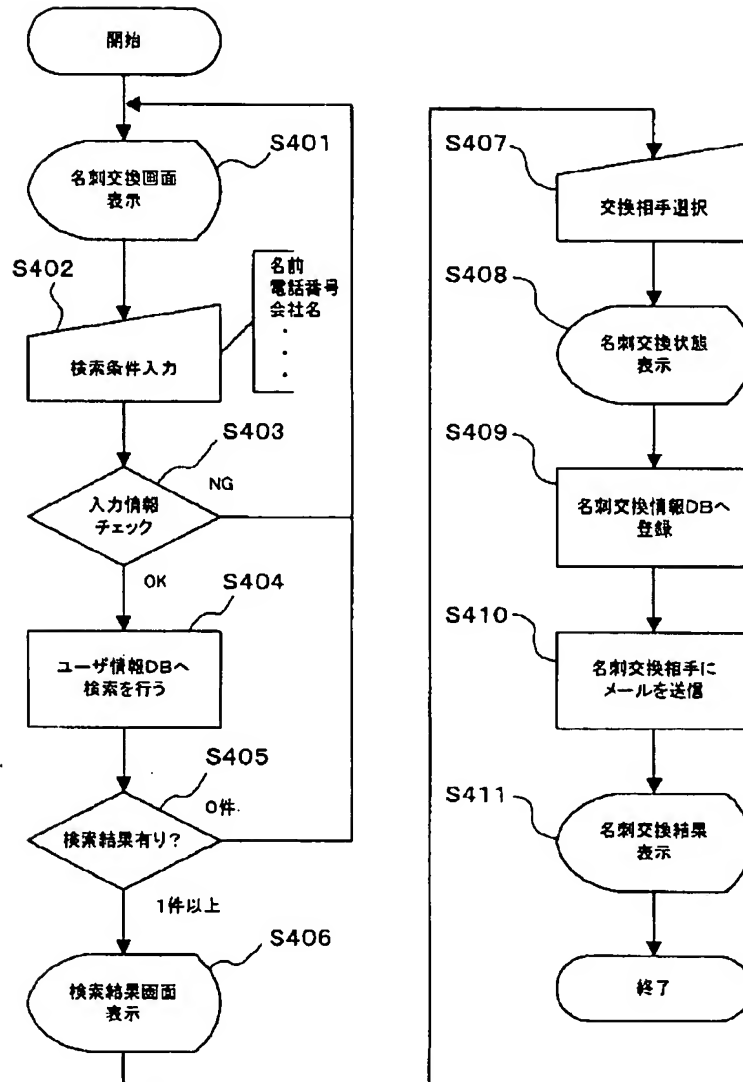
【図4】

図 4



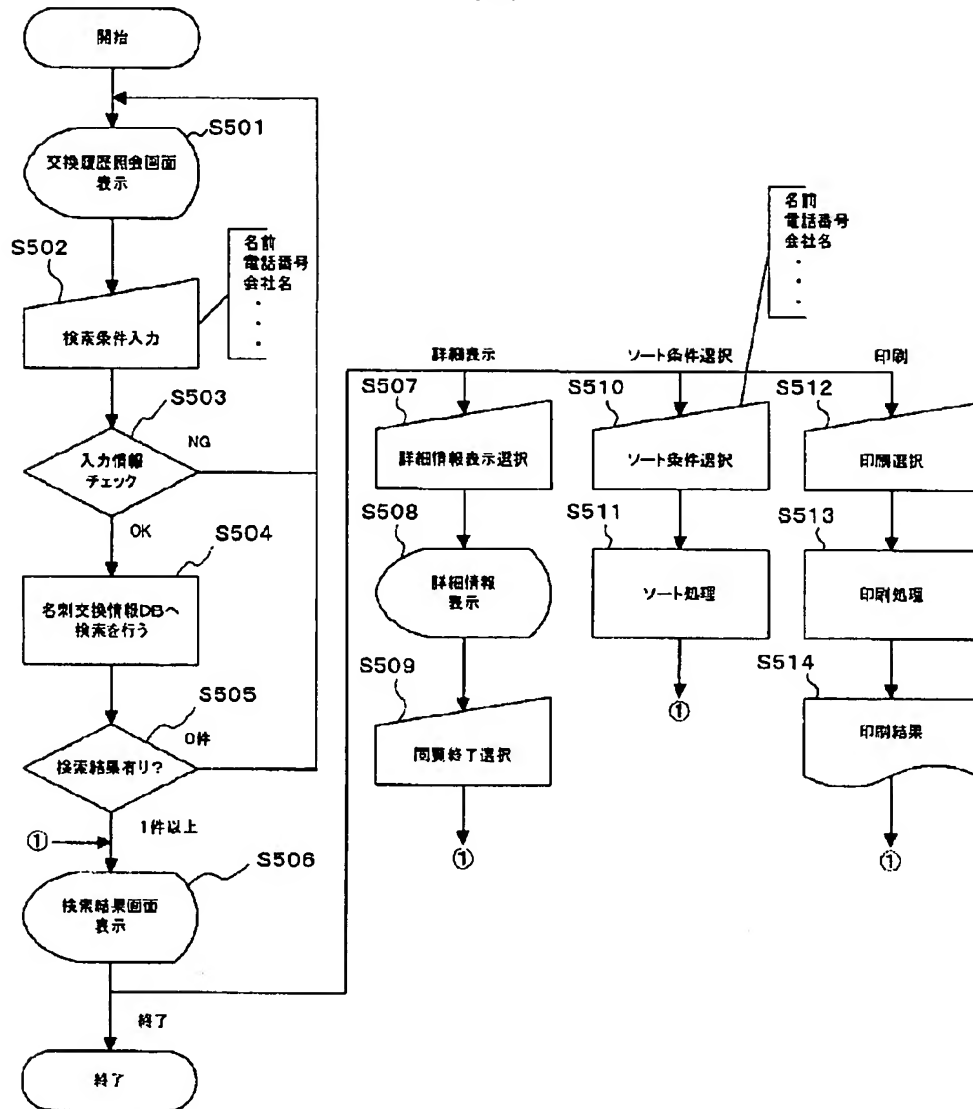
【図5】

図 5



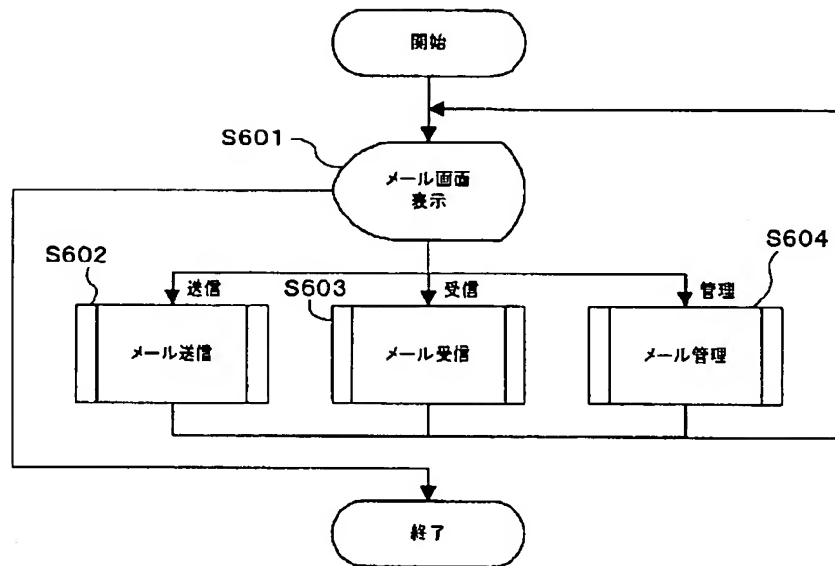
【図6】

図 6



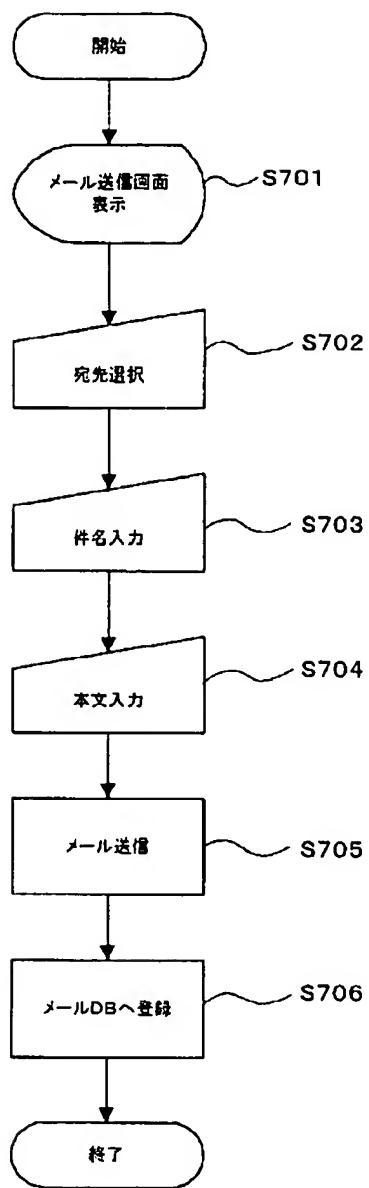
【図7】

図 7

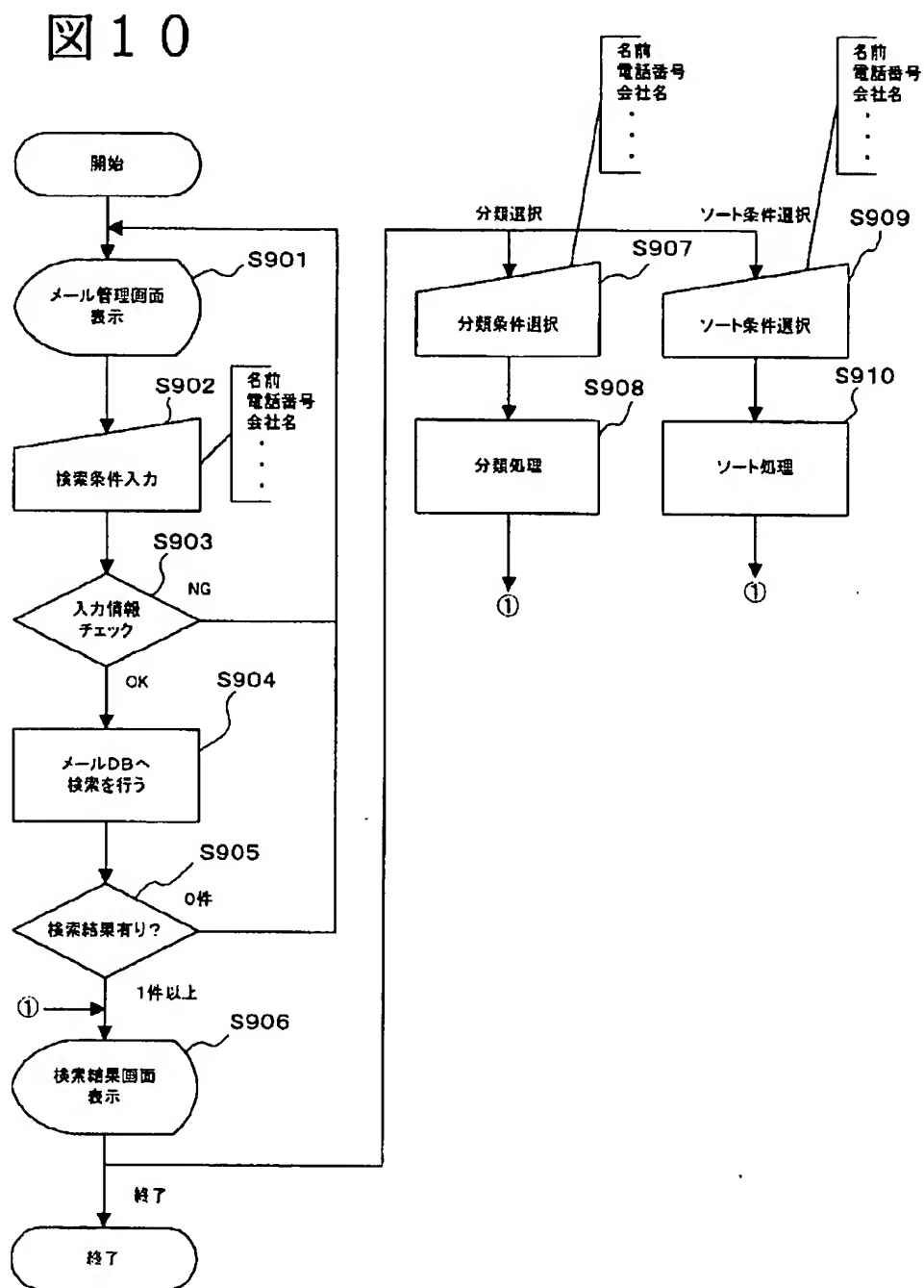


【図8】

図 8



【図10】



フロントページの続き

(72)発明者 篠原 裕一郎
神奈川県横浜市西区高島二丁目19番12号
横浜スカイビル23F 株式会社エフネット
内

Fターム(参考) 5B049 CC00 EE00 GG00

A8

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-163401

(43)Date of publication of application : 07.06.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2000-361462 (71)Applicant : FNET:KK

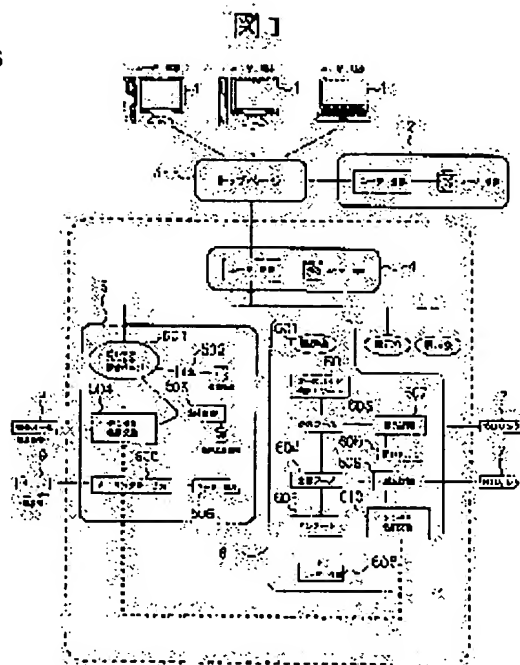
(22)Date of filing : 28.11.2000 (72)Inventor : HONDA HIROMI
DOSONO SENTARO
SHINOHARA YUICHIRO

(54) DIGITAL BUSINESS CARD EXCHANGE SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a digital business card exchange system which makes it possible to exchange a digital business card anywhere at any time and always take out information on an exchanged digital business card.

SOLUTION: The digital business card exchange system is equipped with a means which registers an individual digital business card of an individual on a Web site from a user terminal through the Internet, a means which exchanges the digital business card with other user terminals together with messages, and a means which manages their exchange history data.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or

application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office